



進路だより 一歩一歩

4号
2017年5月25日(木)
西原東中学校進路担当

「第1回進路希望調査」からでたみなさんの質問にお答えします。(PART 1)

たくさんの質問が書かれていましたが、その中から全生徒に関係する質問に答えます。今後わからないことや進路に関しての相談があれば、積極的に担任の先生や進路担当に聞いてほしいです。一緒に考えていきましょう。



Q 1 : 進学したい高校に合格できますか。

A 1

入試は「内申」と「当日のテスト」の割合が基本5:5です。だからこそ、今現在、合格できる可能性が100%の生徒はいません。今後の努力で、当日の入試の点数はいくらでも上がるからです。内申についても、今から成績がつけられるので、日頃の努力がすべて入試の結果につながります。ただ、高校別に内申や当日のテストは何点とったらいいかなど、ある程度の目安はありますので、担任の先生に相談してください。

Q 2 : 今の自分の成績でどこの高校が合格できますか。

A 2



合格できる高校ではなく、進学したい高校を決めて、それに向って努力をしてほしいです。3年間通う高校なので、「ぜひこの高校で勉強をしたい」という高校を探しましょう。そのためには、高校に進学して何がしたいかをしっかり考え、資料を見たり、体験入学等にも積極的に参加しましょう。わからないことは担任の先生や進路担当に質問したり、どんどんアドバイスをもらいましょう。

Q 3 : どうやって高校を決めたらいいですか。いつ頃、高校を決めたらいいですか。

A 3

将来どのような職業に就きたいか考えます。その職業に就くために、高校卒業後は進学か就職かを考えます。自分が何が得意なのか自分の特性を知ることも大切です。そして、ある程度将来のイメージがつくと、高校も決めやすくなると思います。将来のイメージがなかなかもてない生徒は「普通科」の学校に進学すると、高校生活の中で将来のことを決めても対応できると思います。専門的な資格をたくさんとりたいなら、専門的な学科がある高校(工業、商業、農業、水産)もお勧めです。進路決定の最終は1月ですが、進学したい高校を早く決めて、その高校に合格できるよう目標をもって充実した毎日を過ごしましょう。

Q 4 : 今の自分で推薦入試を受験できますか。だれでも推薦できますか。

A 5

推薦入試は、誰でも受験はできません。西原東中学校の推薦基準を見て、それが自分にあてはまっているか確認してください。また、進学先の高校の基準もあるで、それを確認してください。それから、県立高校では「何で推薦するか」も大切です。推薦には推薦項目があり、検定試験、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などがあります。高校では、推薦する実績内容によってランクをつけるので、何で推薦するかも大切になってきます。

Q 5 : 推薦入試では実績がなくても受験できますか。

A 5

推薦入試は、大きく分けて「自己表現」と「個性表現」とがあります。実績がある人は「自己表現」で推薦入試を受け、関係する賞状のコピーを提出します。実績がなくても「個性表現」で推薦はできますが、受検の当日に実技試験があります。受検する高校にもよりますが、実際は「個性表現」で合格する可能性は低くなっているのが現状です。推薦入試のためではなく、自分のために、この1年間たくさん^{あかし}のことに挑戦して頑張った証を残してほしいです。

Q 6 : 県外の高校に進学できますか。

A 6



もちろん、県外の高校を受検することも可能ですし、実際に進学する生徒も昨年いました。県外は沖縄県と入試システムが異なる学校がたくさんあります。受検前に慌てることのないよう県外の高校への進学を考えている生徒は、早めに担任の先生に相談してください。

Q 7 : 入試対策と勉強方法がわからない。

A 7

塾で勉強する人は、塾で学習を進めていけるとと思います。塾に行っていない生徒は、5教科別の薄い問題集を買って、1日にページ数を決めて1、2年生の復習をしてはどうでしょうか。1、2年生の範囲からも入試はできますので計画を立てて学習します。問題集1冊を最後までやると、わからなかったところだけまた解きます。3回、4回と同じ問題集を繰り返し学習することにより、基礎・基本の力が定着します。わからないところは、教科担任の先生に聞いてください。そして、夏休みからは、過去問題集を買って、高校入試問題になれることもお勧めします。ポイントは、何回も同じ問題集を解くこと、わからないのはそのままにしないことだと思います。頑張ってください。

悔いのない進路決定・実現のためには、何事にも一生懸命に取り組むと同時に、進路に関する知識を深めていくことが大切です。わからないことは相談しましょう。

